



いずみこども園  
ホームページ  
QRコード

令和6年1月8日  
千代田区立いずみこども園  
園長 穴原江美

## 【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

巳年に寄せて ～福を呼ぶいずみのお正月飾り～

園長 穴原 江美

新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

2025年の干支である『巳（蛇）』は、「知恵」「成長」「再生」を象徴するものとされており、また巳年は、脱皮を繰り返して成長する蛇の姿から「変化と進化の年」とも言われるそうです。

子どもたちは、日々の生活や遊びの中で、新しいことに出会い、学び、挑戦しながら、少しずつ新しい自分へと“脱皮”を重ねながら成長しています。私たちもまた、子どもたちの姿に学びながら、より良い保育・教育へと進んでいかれるように励んでいきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ところで、お正月には、新しい年に福を呼び込み、健康や繁栄を願って、様々な『縁起物』を飾ります。いずみこども園の玄関ホールにも、「鏡餅」「松飾り」「巳のしめ飾り」などが飾られています。これらは、年末に「良い年になりますように」と願いを込めて、年長児が中心に作成し、飾った『縁起物』です。

『鏡餅』は、地域の和菓子屋「亀屋大和」の職人である古島様に教えていただきながら、年長児が餅をつき、古島様が鏡餅に仕上げてくださいました。つきたての餅が、あっという間に丸くなる様子はまさに職人芸で、子どもたちも先生たちも驚きの様子で見入っていました。また年長児は、自分用の小さな鏡餅も作りました。

『松飾り』は、“とうきょう すくわくプログラム”事業の一環として行いました。この事業は、子どもたちの「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探求心(わくわく)」を応援するプログラムで、今年度から千代田区立の全園で実施しています。本園では「花(植物)」をテーマとし、年長児が生け花体験を行いました。季節の花に触れながら、五感を働かせて、色・匂い・感触等の違いを感じたり、花の特徴を捉えて、考えたり工夫したりして花を生けました。個々の作品は、家庭に持ち帰りましたので、玄関に飾られている作品は、友達や先生との共同作品になっています。

『巳のしめ飾り』は、一年間お世話になった方々に、年長児が作ってプレゼントしたものです。私のところにも「今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください」と、年末の挨拶と共に届けてくれました。嬉しくて、すぐに飾りました。

子どもたちの思いがいっぱい詰まった『縁起物』のお正月飾りは、きっとたくさんのお福を呼び込んでくれることでしょう。

今年一年、いずみこども園のみんなが、幸せで健やかに成長していかれますように…。

